

第 3 次図書館ビジョンの基本理念

「知と学びと文化の情報拠点」

第 3 次図書館ビジョンにおいて、第 1 次ビジョン、第 2 次ビジョンに引き続き「知と学びと文化の情報拠点」を基本理念と定めます。

3つの視点

図書館ビジョンにおける「視点」とは、計画の策定及び遂行において関心を持ち重視する生活領域や社会課題です。計画の遂行によって、これらの領域や課題をめぐる状況の改善や向上に貢献することを目指します。

第3次図書館ビジョンの視点は、次の3つとします。

「子ども・若者」

第3次ビジョンにおいて、「子ども」とはゼロ歳から小学生以下まで、「若者」とは中学生以上18歳までを指します。子ども・若者は未来の世田谷を支える主体であり、彼らの成長こそ、次世代の世田谷の可能性を切り開きます。子ども・若者が読書の楽しさや知識や情報の大切さを知り、本に親しみながら創造性を育み、また、想像力を養うことができるよう、そのための機会や環境を提供します。そして、彼らの健やかで豊かな成長を支えます。

「地域文化とコミュニティ」

私たちは地域の中で、様々な人や機関とのつながりの中で社会生活をおくっています。また、地域は歴史を持っており、私たちも地域の記憶を持ち、過去とのつながりを感じながら生活しています。人々が地域を知り、地域に愛着を感じ、さらに地域の人々とつながり協力しあって生きていくことは、持続可能な地域社会をつくっていくうえで極めて重要です。図書館は、地域の文化を支え、地域のつながり促進に努めます。

「社会的包摂」

社会は多様な属性を持った人々によって構成されており、今日、その全ての人が、その人らしく、また、その特性を生かして、参画していけるような社会となることが求められています。人々が、お互いに理解し合い協力し合うためには、知識や情報の共有及び考え方の相互理解が不可欠です。図書館は、様々な属性を持った方々に対して、その特性に応じた資料及びサービスの提供を行い、暮らしや学びに必要な知識や情報、社会生活や社会活動のための知識や文化、教養等を共有するための社会基盤として機能し、人々を包摂するコミュニティづくりに貢献します。

世田谷区立図書館第3次ビジョンの構造

基本理念：知と学びと文化の情報拠点

